

北海道支部だより

気象学会支部役員選挙結果

支部では役員の任期が満了となったので6月4日選挙公示を行い、7月9日を投票締切日として選挙を行なった。理事立候補者は8名であった。投票は7名(またはそれ以内)の連記とし、開票は7月13日におこなわれた。投票総数100票、うち完全白票(1名も記入していない)1票であった。

その結果の得票者、得票数()は次の通りである。
 日下部正雄(96) 唐津進(84) 吉田順五(83) 神原健(82) 斉藤博英(82) 淵本一(79) 井上力太(75) 黒岩大助(62) 以上は立候補
 樋口敬二(8) 岡林俊雄(7) 柿崎英一(5) 小林禎作(4) 孫野長治(4) 荒川正一(2) 渡辺貫太郎(2) 石井幸男(2)

河村四郎, 成田信一, 矢木秀雄, 田中文治, 野上孝治, 山崎道夫, 寺島和行, 畑山源二(各1)

気象学会支部役員構成 (別項理事会報告参照)

気象学会地方理事 孫野 長治(北大地球物理)
 同 北海道支部長 神原 健(札幌管区気象台)
 常任理事 日下部正雄(札幌管区気象台)
 常任理事 唐津 進(札幌管区気象台)
 常任理事 井上 力太(北大衛生工学)
 理 事 吉田 順五(北大低温科学)
 理 事 斉藤 博英(釧路地方気象台)
 理 事 淵本 一(函館海洋気象台)
 幹 事 小林 禎作(北大低温科学)
 幹 事 岡林 俊雄(札幌管区気象台)

北海道支部理事会報告(第1回)

1. 日 時 昭和39年6月2日 12時~14時半
2. 場 所 北大クラーク会館 特別食堂
3. 出席者 日下部正雄, 孫野長治, 井上力太, 唐津進, 小林禎作, 黒岩大助(雲物理関係者として)
 ※吉田支部長急病のため欠席

4. 議 事

(1)北海道支部役員選挙について

学会本部の地方理事決定後できるだけ早くおこなう。7名以内連記で、立候補、推せん候補をみとめることとする。

(2)日本気象学会の北海道地方理事について

明年6月1日に雲物理国際セミナーが札幌で行なわ

れる関係で北大孫野長治氏を推せん候補とした。

(3)昭和38年度事業報告ならびに会計報告

- ア. 理事会 昭和38.5.6 昭和38.10.7 昭和39.2.6.
 イ. シンポジウム
 昭和38.6.19 豪雪シンポジウム(雪氷と共催)
 昭和38.12.11 霧シンポジウム
 ウ. 研究会 昭和39.2.6 北大クラーク会館
 エ. 講演会 昭和38.7.16 サティライト気象
 藤田哲也
 オ. 講習会 雪氷学会, 気象協会と共催
 カ. その他, 中国学術使節団に対する募金

昭和38年度会計報告

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前年度繰越金	40,160	研究会, 理事会	12,895
本部交付金	26,000	談話会(霧, 豪雪)	3,604
中国学術団還元金	3,000	理 事 会	3,604
入 会 金	400	印 刷 費	800
		通 信 費	145
計	69,560		20,524
翌年度繰越金			49,036

(4)昭和39年度事業計画

ア. 役員選挙

イ. 理事会

支部役員選挙終了後新役員による理事会を至急開く。国際セミナー対策を主とする。その他必要に応じて開く

ウ. シンポジウム

電波気象(レーダーを含む)11月大気汚染雪に究ては雪氷学会がやるなら共催する。

エ. 研究会

気象台の研究会との関連はもうすこし検討する。農業気象学会と共催するものを考慮する。

オ. 講演会

孫野長治氏のを予定す。

シカゴ大学の小元氏のを40年1月頃に行なう。その他必要に応じて行なう。

カ. 支部日より

雲物理セミナー関係、役員改選、理事会関係のもの、その他適宜に出す。

(5)雲物理国際セミナー関係の情報連絡及び打合せ。

北海道支部理事会報告 (第2回)

- 日時 昭和39年7月30日 10時~13時
- 場所 北大クラーク会館 特別食堂
- 出席者 神原健, 吉田順五, 日下部正雄, 孫野長治, 淵本一, 井上力太, 唐津進, 小林禎作
- 議事

(1)支部長選出について,

神原健氏を支部長に選出

(2)常任理事の選出について

日下部正雄, 井上力太, 唐津進の3氏を選出。

(3)幹事の委嘱について,

小林禎作, 岡林俊雄の2名を支部長より委嘱

(4)雲物国際セミナーについての情報連絡, 打合せ。

当初は札幌会場を3日と予定したが結局東京5日間, 札幌1日半(半日は北大訪問, 故中谷教授の業績を主体に展示会)となった。IUGG, WMO が主軸となり, 日本気象学会, 日本学術会議がこれに加わり, 四者の共催となる。当初は札幌ではシンポジウムとして考えていたが, セミナーの形をとることにした。日本学術会議では共通経費をのぞく1/3程度の予算を考慮してくれる模様である。

(5)雲物理国際セミナーの北海道支部実行委員について。

孫野長治氏が雲物理会議の本部実行委員となっており, 神原健氏が組織委員となっているが, 札幌会場での行事を円滑に行なうには支部役員のみでは困難であるので, さしあたって次の諸氏を実行委員とすることに決定した。

北大: 孫野長治, 黒岩大助, 樋口敬二, 小林禎作, 菊地勝弘

気象台: 日下部正雄, 唐津進, 岡林俊雄, 齊藤実

豪雪談話会

気象学会支部 共催
雪永学会支部

日時 昭和38年6月19日
場所 北大低温科学研究所会議室
司会 北大理学部, 孫野長治

話題提供

1964年11月

- 北海道における大雪の気候学的考察
……………札幌管区気象台 唐津 進
- 北海道の大雪をもたらす気圧配置について
……………札幌管区気象台 竹井 淳
- なだれの発生機構
……………国鉄塩沢雪実験所 荘田 幹夫
- 北陸豪雪の雪質調査
……………北大低温科学研究所 藤岡 敏夫
- 豪雪をもたらす雲について
……………北大理学部 樋口 敬二

霧に関するシンポジウム

気象学会支部 主催

日時 昭和38年12月11日 13~17時

場所 北大理学部, 地球物理学教室

座長 孫野長治, 日下部正雄

話題提供

- 海上の霧……………函館海洋気象台 梶原 章平
- 気圧配置と勇払原野の霧発現
……………函館海洋気象台 増沢 昇
- 苫小牧における高層観測結果について
……………札幌管区気象台 石田 恭市
- 内陸に浸入する海霧消散の理論的取扱いについて
……………札幌管区気象台 荒川 正一
- 加熱法による霧の人工消散について
……………北大理学部 孫野 長治

研究発表会

気象学会北海道支部

日時 昭和39年2月6日 午前10時より

場所 北海道大学クラーク会館大集会室(2階)

研究発表題目

- 網走の気温に及ぼす海水の影響について
……………(網走地気) 齊藤 博英
- 沃化鉛, コヴェリン面上における水晶の
……………成長について(北大低温) 小林 禎作
- 西海岸の降雪について…(札幌調査) 岡林 俊雄
- 石狩平野の雪雲の総合観測について
……………(北大地物) 孫野 長治
- しゅう雪のともなうレーダー・エコーについて
……………(函館測候) 黒沢真喜人
- 下層ジェットによる雲について
……………(北大地物) 葛西 俊之
- 津軽海峡の霧……………(函館予報) 沢田 照夫
- 勇払原野の霧……………(札幌観測) 齊藤 実
- 勇払原野の霧(大気放射の計算と生成機構の検討)
……………(札幌調査) 荒川 正一
- U-Dゾンデの気圧第3温度補正について
……………(札幌調査) 石田 恭市